



北アフリカ地域ニュース

エジプト：与党 NDP 党大会におけるナジーフ首相他の発言 (11月6日付現地各紙)

11月5日に開催された第9回 NDP(国民民主党)党大会におけるナジーフ首相他閣僚の発言。

1. ナジーフ首相の発言

- (1) 今年度国家予算に計上された臨時収入が760億エジプト・ポンド(LE)に達した。これには、国営アレキサンドリア銀行の売却、第三世代携帯電話ライセンス、新工場建設ライセンス、その他国営企業の民営化に係る収益等が含まれる。同収入のうち、50億LEが鉄道部門に、35億LEが上下水道プロジェクト等に配分された。
- (2) 我々は、エジプト経済の停滞、急増する失業率、投資環境の改善、エジプト経済に対する信頼回復に関する問題に取り組むために重要な決定を行い、その結果、今やエジプト経済の成長率は7%にまで上昇した。新規会社設立に関する投資が1,330億LEを上回り、又、輸出額が20%上昇すれば、来年の経済成長率は更に伸びるであろう。
- (3) (生産性が低い部門の発展に関し)各部門の成長率は、工業部門10.6%、農業部門3.8%、観光部門12%、建設部門15%であった。政府は、補助金の配分問題に関し慎重に検討する予定であり、自分は、社会連帯省及び行政開発省に対し、補助金を必要とする人々を選定するメカニズムを年内中に考案するよう指示した。新予算における補助金額は600億LEに達する。

2. ユニス電力エネルギー相の発言

- (1) エジプトの国内電力供給率は99%である。今後の計画では、石油・天然ガスなど将来的に枯渇が懸念される資源に鑑み、次世代エネルギーの供給に関する計画が描かれている。よって政府は、再生可能エネルギーの生産に力を入れている。エジプトは、ハイ・ダム、アスワン及びイズナ貯水池を通じた水力エネルギー資源を大量に保有している。
- (2) 原子力発電は、再生可能な代替エネルギーの候補に挙げられる。ムバラク大統領は、平和利用のための原子力計画を開始した。

3. ファハミ石油相の発言

- (1) 今後の石油省の戦略は、石油・天然ガスの備蓄量の増加、更なる油田・ガス田の発見に向けた投資の誘致等である。エジプトは、熟練した人的資源、恵まれた地理的条件、スエズ運河に代表されるインフラ、スエズ湾に埋蔵される豊富な石油・天然ガスを利用して、これらの目標を達成することが可能である。
- (2) (エジプトが石油精製を中心とする基本的インフラを保有していることに言及しつつ) 我々の戦略目標は、エネルギー関連投資の集積地となることである。天然ガス供給網は、2009年までに上エジプト地域全県に拡張される予定である。